

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2024年第47週
(11月18日～11月24日)

- * 2024年11月27日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「ようやく見えてきたマイコプラズマ・
ジェニタリウム尿道炎」も掲載しています。

令和6年(2024年)11月28日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213 (直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数 (一類～四類)

2024年47週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		44週	45週	46週	47週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	48	36	62	36	1,920
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}					
	中東呼吸器症候群 ^{*2}					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
	鳥インフルエンザ(H7N9)					
三類	コレラ					2
	細菌性赤痢					23
	腸管出血性大腸菌感染症	10	6	12	10	444
	腸チフス		1			6
	パラチフス		1			3
四類	E型肝炎	5	2	2		128
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎				1	19
	エキノコックス症					1
	エムボックス					14
	黄熱					
	オウム病					
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症					2
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}					
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎					
	炭疽					
	チクングニア熱	1		1	1	4
つつが虫病		2			2	
デング熱	2	3			63	
東部ウマ脳炎						
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		44週	45週	46週	47週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア		1			10
	野兔病					
	ライム病					1
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
レジオネラ症		8	14	7	9	240
レプトスピラ症						5
ロッキー山紅斑熱						
2024/11/27集計						

(全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類)

<二類感染症>

結核 36件 患者 27件(肺結核 16件、その他の結核 8件、肺結核及びその他の結核 3件)、無症状病原体保有者 9件、年齢は30代 2件、40代 3件、50代 3件、60代 4件、70代 4件、80代 16件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 20件、ミャンマー 1件、タイ又はシンガポール 1件、不明 14件であった。

<三類感染症>

腸管出血性大腸菌感染症 10件 患者 5件(うちHUS 1件)、無症状病原体保有者 5件、血清型・毒素型はO91 VT1・VT2 1件、O103 VT1 1件、O111 VT1 1件、O157 VT1・VT2 2件、O157 VT2 2件、O157 VT(型不明) 1件、血清型不明VT1 1件、他の診断方法 1件、年齢は10代 3件、20代 4件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 5件、インドネシア 1件、韓国 1件、不明 3件、推定感染経路は経口感染 4件、不明 6件であった。

<四類感染症>

A型肝炎 1件 患者、年齢は80代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明、A型肝炎ワクチン接種歴は接種なしであった。

チクングニア熱 1件 患者、年齢は30代、推定感染地はインドであった。

レジオネラ症 9件 患者 9件、病型は肺炎型 9件、年齢は40代 1件、60代 1件、70代 6件、80代 1件、推定感染地は国内 8件、不明 1件、推定感染経路は水系感染 3件、不明 6件であった。

<五類感染症>

アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は70代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明であった。

全数把握対象疾患 報告数 (五類)

2024年47週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		44週	45週	46週	47週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	ア메ーバ赤痢	2	2	1	1	94
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1	1	1		37
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	1	3	4	179
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1					4
	急性脳炎 *2	1	2		2	40
	クリプトスポリジウム症	1	1			14
	クロイツフェルト・ヤコブ病					9
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	2	2	226
	後天性免疫不全症候群	6	4	4	5	258
	ジアルジア症		1		1	14
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	3		2	61
	侵襲性髄膜炎菌感染症					10
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	3	4	6	231
	水痘(入院例に限る)	3	1	2		58
	先天性風しん症候群					
	梅毒	83	76	69	60	3,398
	播種性クリプトコックス症					19
	破傷風	1				2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					7
百日咳	15	15	13	21	310	
風しん					1	
麻しん					10	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					1	
2024/11/27集計						

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 4件 病原菌は*Klebsiella aerogenes* 1件、*Enterobacter cloacae* complex 2件、*Escherichia coli* 1件、年齢は50代 1件、70代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、その他 1件、不明 2件であった。

急性脳炎 2件 病原体は水痘帯状疱疹ウイルス 1件、単純ヘルペスウイルス 1件、年齢は60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はその他 1件、不明 1件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件(うち死亡 1件) 血清群はA群 2件、年齢は50代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は創傷感染 2件であった。

後天性免疫不全症候群 5件 病型はAIDS 1件、無症候キャリア 4件、性別は男性 5件、AIDS患者の年齢は50代、無症候キャリアの年齢は20代 1件、30代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、ウガンダ 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 2件、性別不明 1件)、不明 2件であった。

ジアルジア症 1件 年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件 血清型は未実施 1件、記載なし 1件、年齢は70代 2件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路はその他 1件、不明 1件、ヒブワクチン接種歴は不明 2件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 6件 血清型は未実施 5件、記載なし 1件、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、60代 1件、70代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価1回・価数不明2回接種済み 1件、価数不明2回接種済み 1件、価数不明1回接種済み 1件、接種なし 1件、不明 2件であった。

梅毒 60件 患者 51件(早期顕症梅毒 I 期 31件、早期顕症梅毒 II 期 20件)、無症候梅毒 9件、性別は男性 36件、女性 24件、年齢は10代 3件、20代 26件、30代 11件、40代 8件、50代 9件、60代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 53件、不明 7件、推定感染経路は性的接触 57件(同性間 8件、異性間 43件、両性間 1件、性別不明 5件)、不明 3件であった。

百日咳 21件 年齢は5歳未満 3件、5~9歳 4件、10代 7件、20代 1件、40代 1件、50代 2件、60代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 14件、不明 7件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 7件、接種なし 1件、不明 13件であった。

※ 第46週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件、〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2件、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 4件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2024年47週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2024年				報告医療機関数	定点医療機関数
		44週	45週	46週	47週		
小児科	RSウイルス感染症	66 0.25	52 0.20	59 0.22	62 0.23	264	264
	咽頭結膜熱	45 0.17	31 0.12	30 0.11	43 0.16		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	418 1.58	371 1.41	541 2.05	534 2.02		
	感染性胃腸炎	743 2.81	650 2.46	971 3.68	861 3.26		
	水痘	50 0.19	54 0.20	57 0.22	55 0.21		
	手足口病	2,311 8.75	1,626 6.16	1,113 4.22	830 3.14		
	伝染性紅斑	363 1.38	324 1.23	510 1.93	438 1.66		
	突発性発しん	62 0.23	62 0.23	62 0.23	69 0.26		
	ヘルパンギーナ	40 0.15	24 0.09	16 0.06	17 0.06		
	流行性耳下腺炎	8 0.03	8 0.03	9 0.03	5 0.02		
	川崎病 ^{*1}	2 0.01	2 0.01	4 0.02	5 0.02		
	不明発しん症 ^{*1}	9 0.03	10 0.04	14 0.05	13 0.05		
	インフルエンザ /COVID-19	インフルエンザ ^{*2}	387 0.92	468 1.12	873 2.09		
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		456 1.09	432 1.03	537 1.28	415 0.99		
眼科	急性出血性結膜炎					39	39
	流行性角結膜炎	19 0.49	15 0.38	8 0.21	13 0.33		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	2 0.08				25	25
	無菌性髄膜炎	2 0.08	1 0.04	3 0.12	3 0.12		
	マイコプラズマ肺炎	110 4.40	100 4.00	108 4.32	107 4.28		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2 0.08	1 0.04				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}						
	インフルエンザ入院	13 0.52	4 0.16	16 0.64	16 0.64		
	COVID-19入院	53 2.12	69 2.76	53 2.12	51 2.04		

2024/11/27集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は、2.39で今後の動向に注意が必要です。
- ・ **手足口病**の定点当たり報告数は、3.14で警報レベルが続いています。
- ・ **伝染性紅斑**の定点当たり報告数は、31保健所中14保健所で警報基準を超え、保健所管内人口の合計は、東京都全体の55.76%となり、警報レベルが続いています。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2024年47週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
～5か月	5			10		2		2				
6～11か月	14	2		46	2	30	1	13				
1歳	23	10	12	105	5	149	11	46	1		3	
2歳	10	6	15	81	1	121	32	6	3			1
3歳	3	4	34	61	2	99	40		1			2
4歳	1	5	44	56	1	103	84	1	2	2	1	
5歳		2	56	80	3	92	96		3			2
6歳		2	68	68	2	62	56		2			
7歳	1	2	83	57	3	47	34	1	1			3
8歳		2	73	45	7	35	29			1		2
9歳	2	4	40	37	1	21	22					1
10～14歳	3	2	74	113	28	40	27		2	1	1	1
15～19歳			6	16		12			1	1		
20～29歳		2	29	86		17	6		1			1
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	62	43	534	861	55	830	438	69	17	5	5	13
先週比	3	13	-7	-110	-2	-283	-72	7	1	-4	1	-1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
～5か月	2	3									
6～11か月	8	5									1
1歳	28	11					2				1
2歳	16	8					6			2	1
3歳	21	1		1			1				
4歳	30	5		1			2			1	
5歳	37	2					6			1	2
6歳	52	3					6				
7歳	63	1					13				
8歳	71	3					10				1
9歳	45	6					6			1	
10～14歳	206	24					37				1
15～19歳	101	32					6				
20～29歳	52	34		4			3			1	1
30～39歳	60	47		4		1	1				
40～49歳	99	68		2			5			1	2
50～59歳	81	56					1				
60～69歳	18	37		1		1	2			2	5
70～79歳	5	38				1				2	17
80歳以上	5	31								5	19
合計	1,000	415		13		3	107			16	51
先週比	127	-122		5			-1				-2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2024年47週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田		0.33	0.33	4.33		2.00	1.00	0.33				
中央区				4.00		0.33	0.33	0.33				
みなと			1.00	1.83		1.17	0.83	0.33	0.50			
新宿区	0.63	0.13	2.00	3.13	0.13	1.00	0.88	0.13				
文京			3.25	2.25	0.75	6.50	1.50			0.25		
台東	0.50	0.50	0.75	9.75		4.75	1.75	0.75				
墨田区			2.40	0.80		2.00	0.80	0.20				
江東区	0.44	0.11	2.78	3.22	0.11	2.89	2.67	0.33	0.22	0.11		
品川区	0.13	0.13	0.75	3.13	0.13	2.25	0.13	0.38				
目黒区	0.60		1.80	1.20	0.20	2.20	1.20					
大田区	0.15	0.69	1.23	4.85		2.77	1.31	0.15	0.08			
世田谷	0.19	0.13	1.63	2.25	0.13	2.50	0.94	0.19				0.06
渋谷区			0.50	2.75	0.25	0.75	0.25	0.50				
中野区		0.17	3.67	4.17	1.00	2.50	2.50	0.50				
杉並	0.09	0.55	0.73	1.91	0.18	2.36	2.91				0.27	0.09
池袋	1.40		0.80	1.80	0.40	3.40	0.80	0.60	0.40			
北区	0.14		2.57	3.14	0.43	3.14	1.86	0.43	0.14			
荒川区	1.00		2.00	5.25		5.00	5.00	0.75	0.25			0.50
板橋区	0.20	0.10	1.80	2.40		1.40	1.30	0.10				0.10
練馬区		0.23	2.92	3.69	0.77	2.62	3.69	0.31	0.15			0.15
足立	0.77	0.38	1.85	3.62	0.15	3.38	0.08	0.38	0.08		0.08	
葛飾区			1.50	2.50	0.25	2.63	0.63	0.25				
江戸川	0.08	0.17	2.00	3.33	0.17	3.33	1.67	0.17	0.17			0.08
八王子市	0.55		2.73	5.09	0.36	6.55	2.73	0.36				0.09
町田市	0.13		1.75	5.88		3.50	2.13					
西多摩	0.13		0.88	0.88	0.13	1.63	1.38	0.13				0.13
南多摩	0.11		1.56	1.78		4.67	0.89	0.56	0.11			
多摩立川	0.07		1.64	1.71	0.14	2.29	2.14	0.14		0.07	0.07	0.07
多摩府中	0.14	0.24	2.19	4.38	0.19	4.57	1.76	0.19	0.05	0.05		0.05
多摩小平	0.20	0.20	5.93	3.93	0.33	5.53	2.47	0.33		0.07		0.07
島しょ												

東京都	0.23	0.16	2.02	3.26	0.21	3.14	1.66	0.26	0.06	0.02	0.02	0.05
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア肺 炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	2.00	1.25				1.00	2.50				2.00
中央区	0.80	0.60		1.00							
みなと	2.67	1.00								2.00	5.00
新宿区	1.17	0.92		0.50			3.50				1.00
文京	0.86	1.57					2.00				
台東	2.43	0.57									
墨田区	1.25	0.75					14.00				
江東区	4.71	0.36		2.00							
品川区	1.92	0.67									
目黒区	1.88	0.13									
大田区	1.14	1.10					3.00				
世田谷	2.64	0.92					4.00			0.50	2.50
渋谷区	2.14	1.00								2.00	3.00
中野区	3.20	1.10									
杉並	1.76	0.94					9.50			1.50	6.50
池袋	2.50	1.63		2.00			12.00				
北区	4.09	0.82									
荒川区	2.86	1.14									
板橋区	1.44	0.56		0.50			2.00				2.00
練馬区	4.40	1.45									
足立	2.25	1.40		0.50							
葛飾区	3.46	0.31					10.00			2.00	2.00
江戸川	2.26	1.05		2.00							
八王子市	3.06	1.50								2.00	4.00
町田市	1.69	0.69									
西多摩	1.93	1.57					9.00			1.00	
南多摩	2.43	1.07									
多摩立川	1.90	0.86									1.00
多摩府中	2.15	0.88		0.33			2.33			1.00	1.33
多摩小平	2.96	1.39				0.50	4.50				3.00
島しょ											

東京都	2.39	0.99		0.33		0.12	4.28			0.64	2.04
-----	------	------	--	------	--	------	------	--	--	------	------

注：表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2024年47週

	小児科											
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田		1	1	13		6	3	1				
中央区				12		1	1	1				
みなの			6	11		7	5	2	3			
新宿区	5	1	16	25	1	8	7	1				
文京			13	9	3	26	6			1		
台東	2	2	3	39		19	7	3				
墨田区			12	4		10	4	1				
江東区	4	1	25	29	1	26	24	3	2	1		
品川区	1	1	6	25	1	18	1	3				
目黒区	3		9	6	1	11	6					
大田区	2	9	16	63		36	17	2	1			
世田谷	3	2	26	36	2	40	15	3				1
渋谷区			2	11	1	3	1	2				
中野区		1	22	25	6	15	15	3				
杉並	1	6	8	21	2	26	32				3	1
池袋	7		4	9	2	17	4	3	2			
北区	1		18	22	3	22	13	3	1			
荒川区	4		8	21		20	20	3	1			2
板橋区	2	1	18	24		14	13	1				1
練馬区		3	38	48	10	34	48	4	2			2
足立	10	5	24	47	2	44	1	5	1		1	
葛飾区			12	20	2	21	5	2				
江戸川	1	2	24	40	2	40	20	2	2			1
八王子市	6		30	56	4	72	30	4				1
町田市	1		14	47		28	17					
西多摩	1		7	7	1	13	11	1				1
南多摩	1		14	16		42	8	5	1			
多摩立川	1		23	24	2	32	30	2		1	1	1
多摩府中	3	5	46	92	4	96	37	4	1	1		1
多摩小平	3	3	89	59	5	83	37	5		1		1
島しょ												

東京都合計	62	43	534	861	55	830	438	69	17	5	5	13
-------	----	----	-----	-----	----	-----	-----	----	----	---	---	----

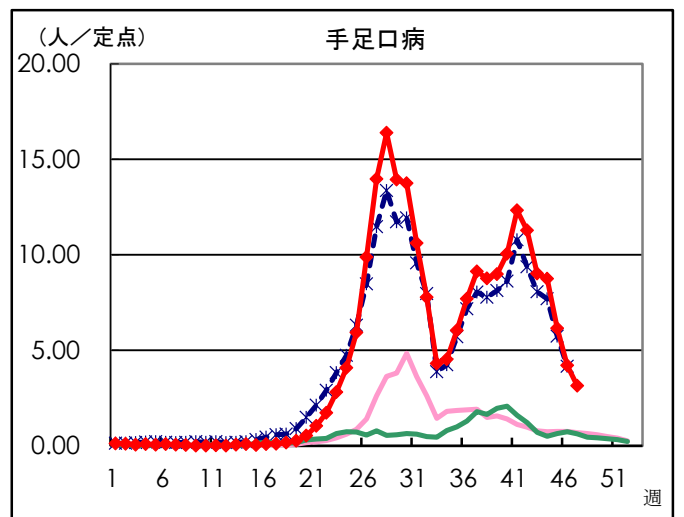
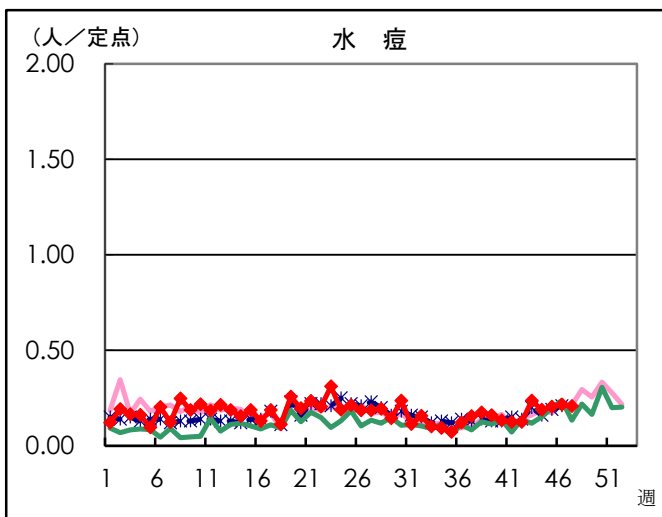
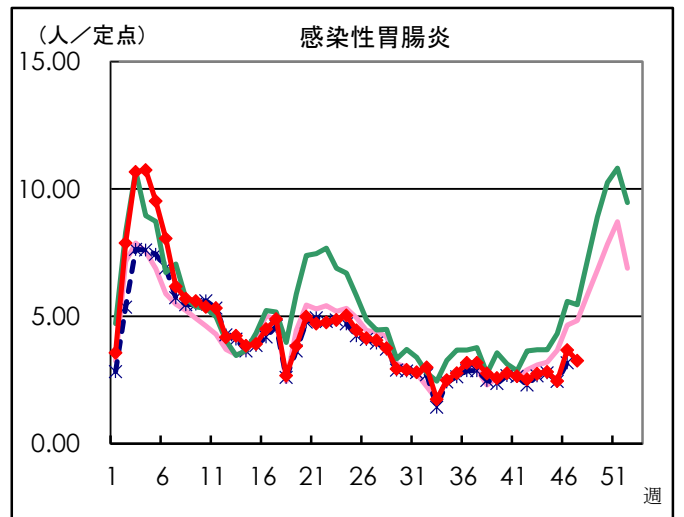
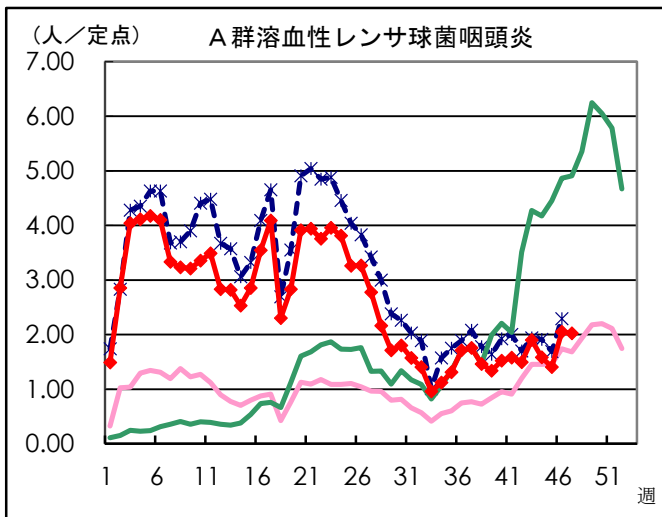
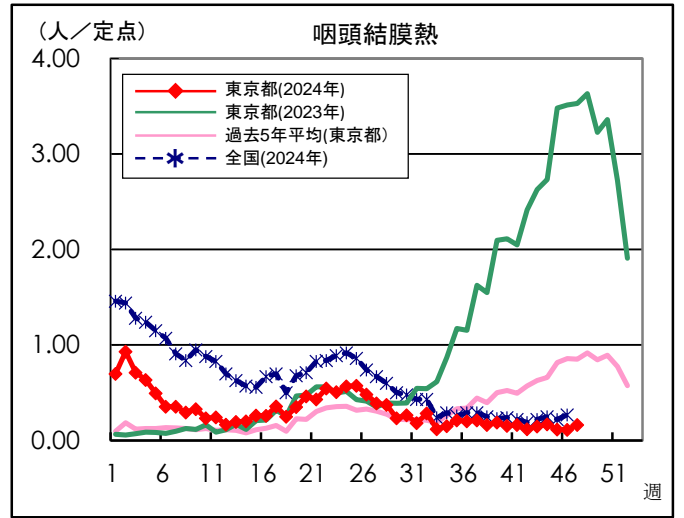
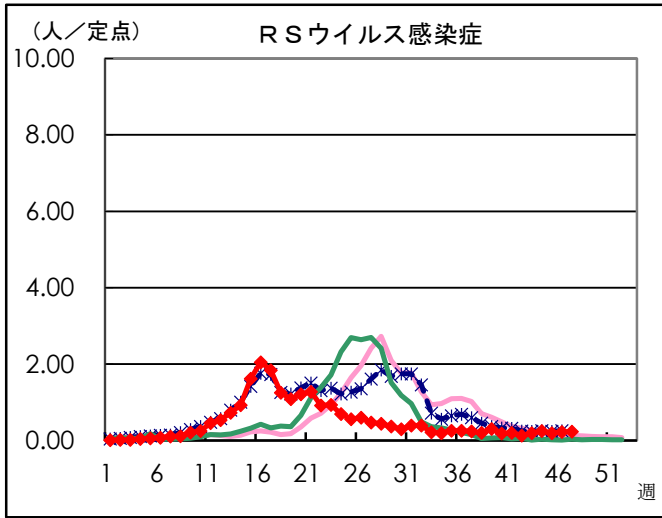
	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	8	5				2	5				4
中央区	4	3		1							
みなと	24	9								2	5
新宿区	14	11		1			7				2
文京	6	11					2				
台東	17	4									
墨田区	10	6					14				
江東区	66	5		2							
品川区	23	8									
目黒区	15	1									
大田区	24	23					3				
世田谷	66	23					8			1	5
渋谷区	15	7								2	3
中野区	32	11									
杉並	30	16					19			3	13
池袋	20	13		2			12				
北区	45	9									
荒川区	20	8									
板橋区	23	9		1			2				2
練馬区	88	29									
足立	45	28		1							
葛飾区	45	4					10			2	2
江戸川	43	20		4							
八王子市	55	27								2	4
町田市	22	9									
西多摩	27	22					9			1	
南多摩	34	15									
多摩立川	40	18									1
多摩府中	71	29		1			7			3	4
多摩小平	68	32				1	9				6
島しょ											

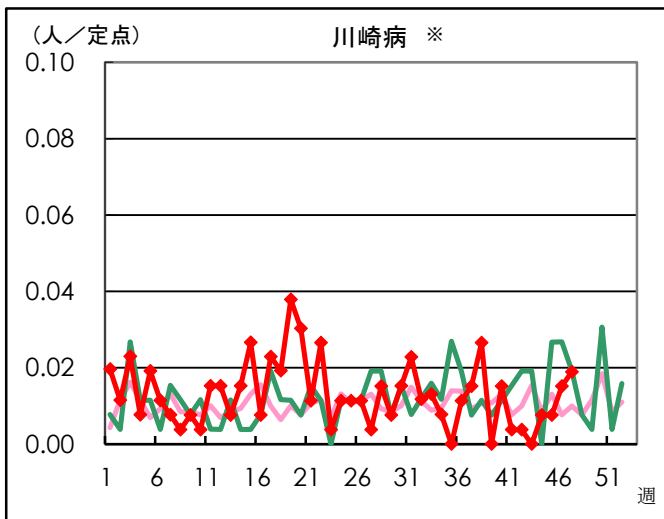
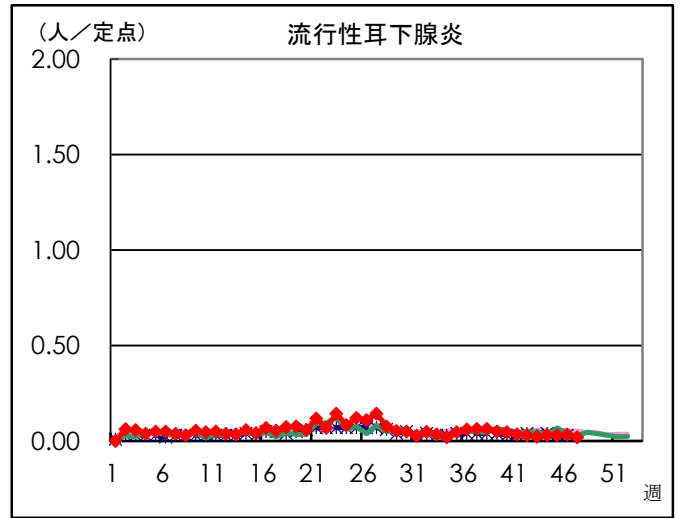
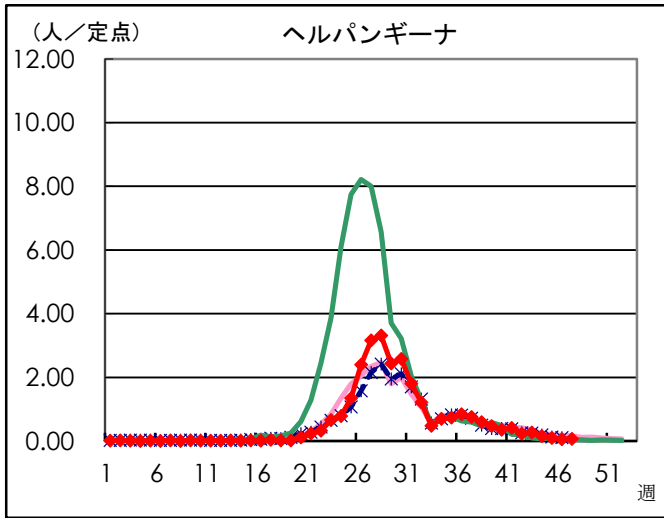
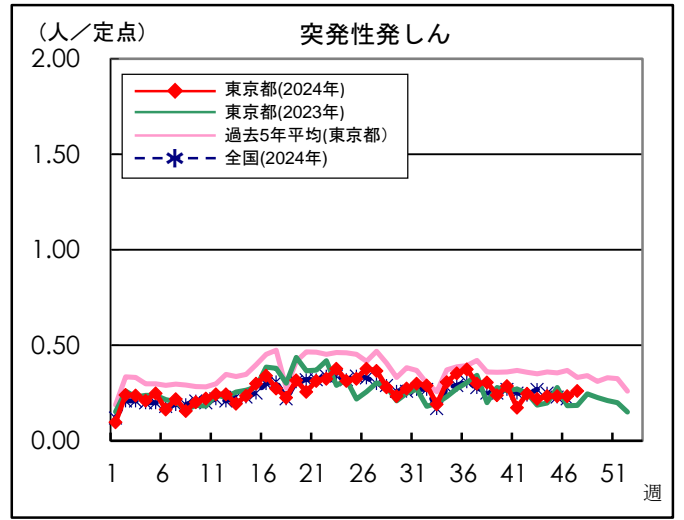
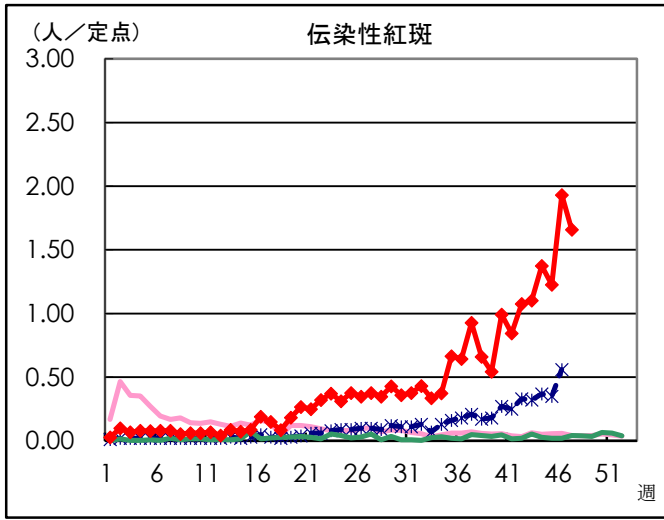
東京都合計	1,000	415		13		3	107			16	51
-------	-------	-----	--	----	--	---	-----	--	--	----	----

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

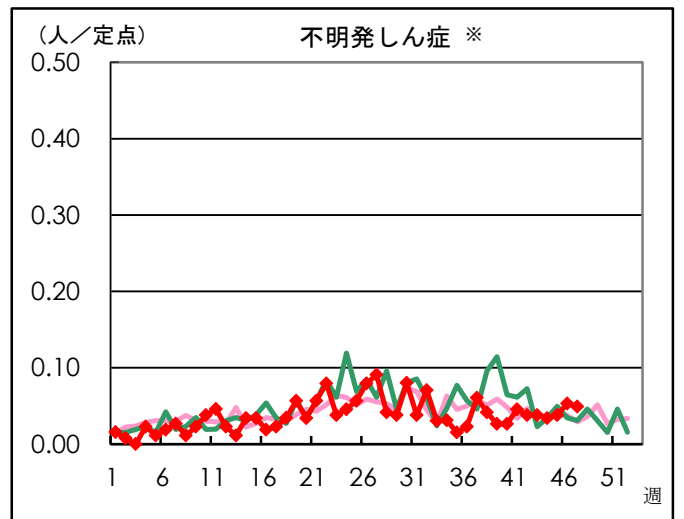
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2024年47週 現在)

◆小児科定点



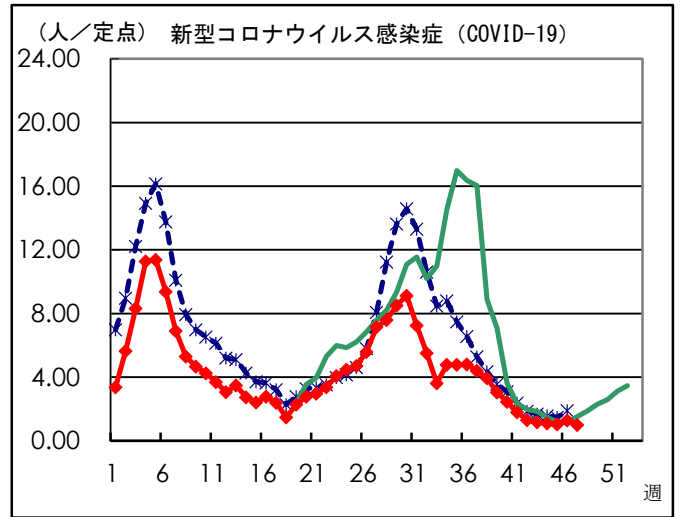
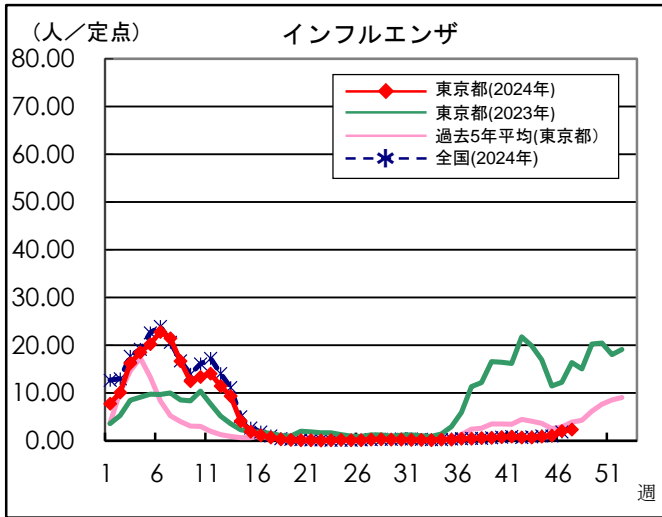


※ 東京都独自対象疾患

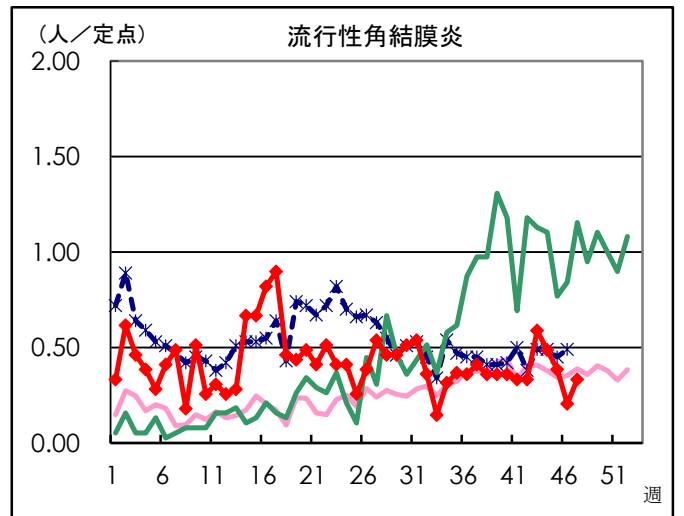
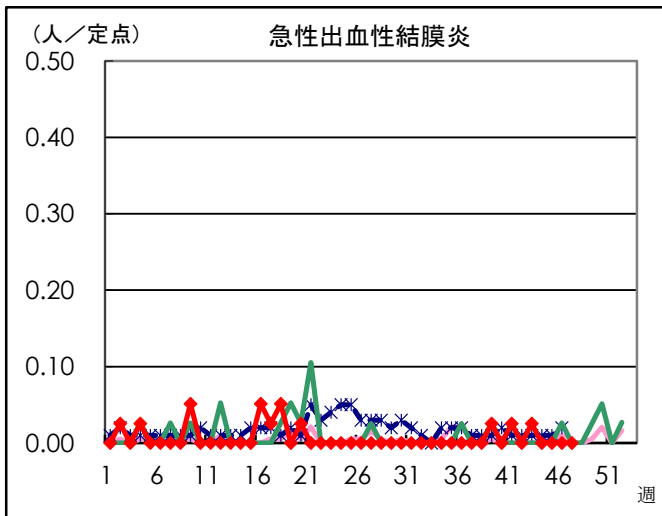


※ 東京都独自対象疾患

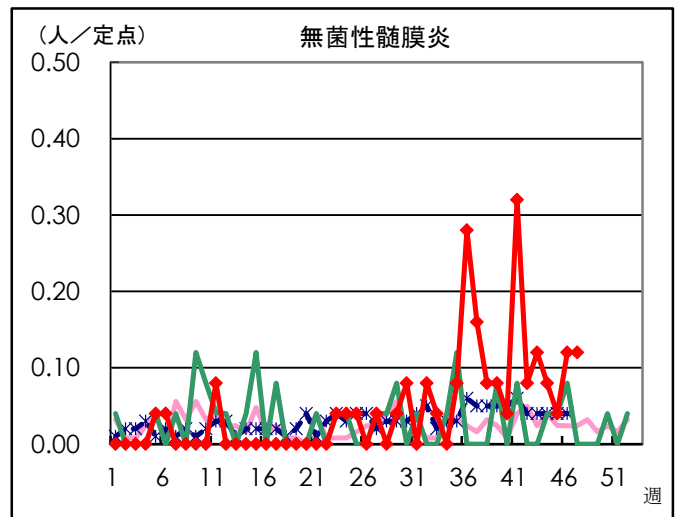
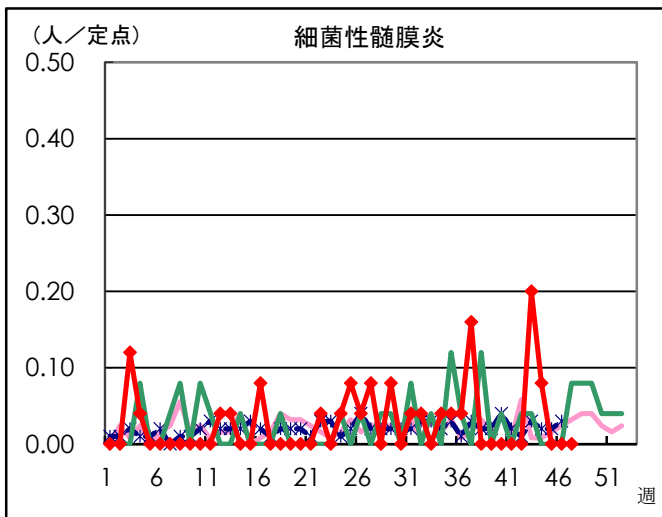
◆インフルエンザ/COVID-19定点



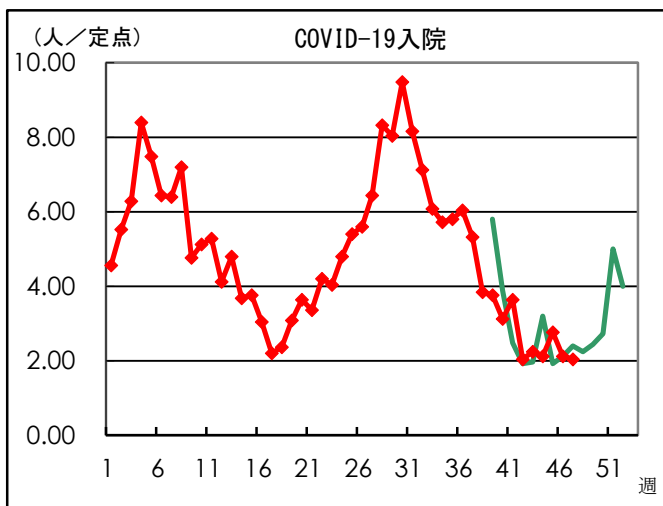
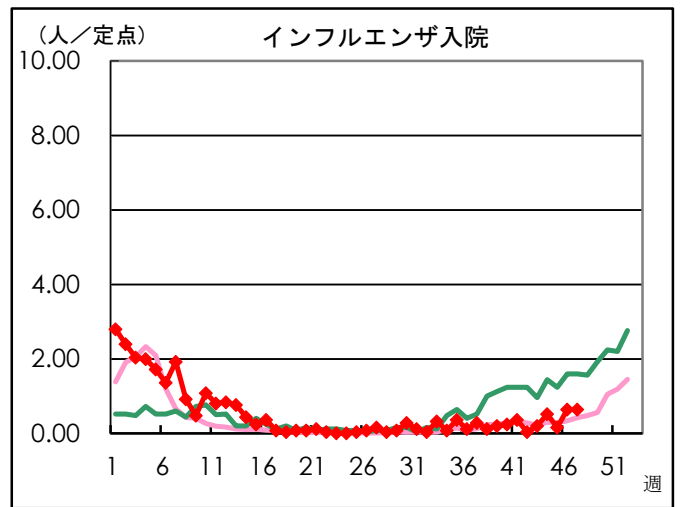
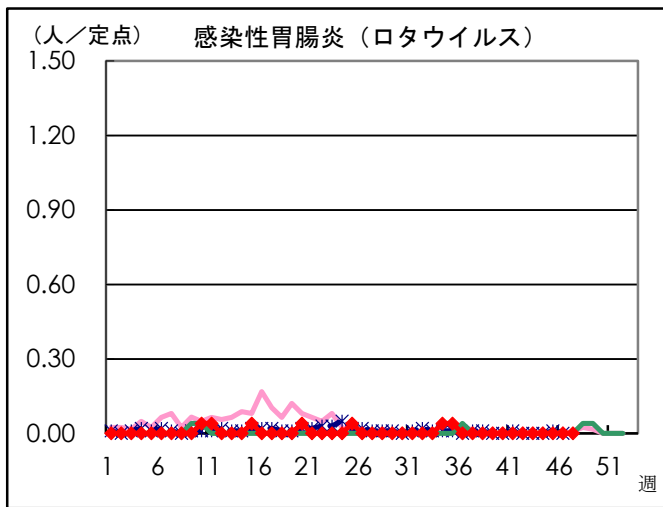
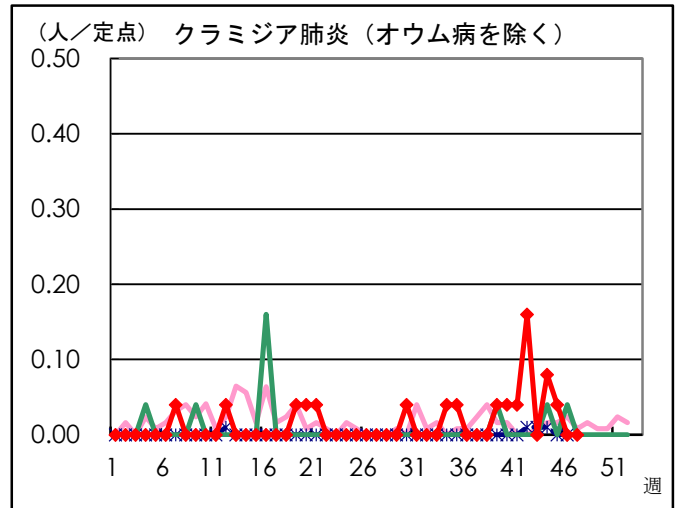
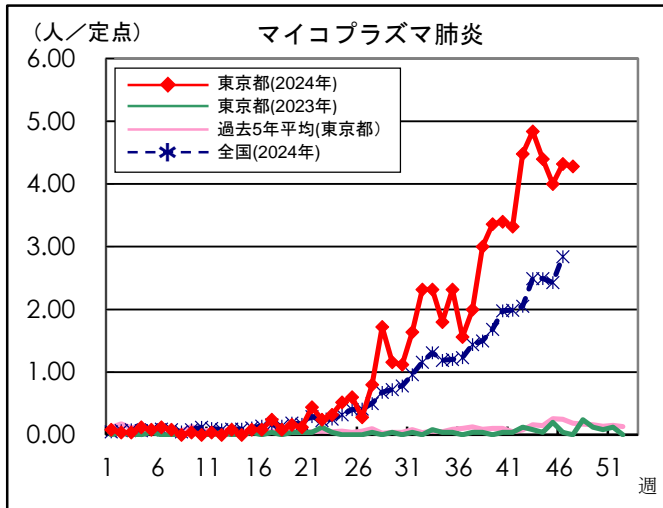
◆眼科定点



◆基幹定点



◆基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
10/25	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型
10/28	インフルエンザ様疾患	76	咽頭拭い液	SARS-CoV-2
10/31	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
11/1	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-6型
11/1	伝染性紅斑	6	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
11/1	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
11/1	不明発しん症	6M	咽頭拭い液	ライノウイルス
11/1	流行性角結膜炎	25	結膜拭い液	アデノウイルスD種
11/2	手足口病	1	咽頭拭い液	ライノウイルス
11/5	流行性角結膜炎	55	結膜拭い液	アデノウイルスD種

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2024年45週	1			
2024-2025年 シーズン累計*	21	2	2	

* 2024-2025年シーズンの開始は第36週(2024年9月2日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2024年							
	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週
アデノウイルス		1	2			2	1	2
コクサッキーウイルスA群	2	2	2	3	3	5	3	1
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス						1		
エンテロウイルス71	1		1	1				
その他のエンテロウイルス			2		1	1		
ライノウイルス	2			1	2	2	3	2
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1							1
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19			2				3	1
RSウイルス	1							
ノロウイルス				1				
ロタウイルス								
サボウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1		2	4	3	4	2	1
インフルエンザウイルスAH3亜型	1						1	
インフルエンザウイルスB型Victoria系統			1					
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2	2	2	3	3		1		1
その他のウイルス	1							
A群溶血性レンサ球菌T-1型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1		1			
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型		1		1				
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								1
A群溶血性レンサ球菌T型別不能						1		
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ				1				
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2024年38週～2024年45週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	1	7	9		28	7	1		1		10	19	20		7		1	1	
アデノウイルス		1												1		6				
コクサッキーウイルスA群						18							3							
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス							1													
エンテロウイルス71						3														
その他のエンテロウイルス		1											1	2						
ライノウイルス						4	1						2	2	3					
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								1					1							
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19							4						2							
RSウイルス	1																			
ノロウイルス				1																
ロタウイルス																				
サポウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09													15	2						
インフルエンザウイルスAH3亜型													2							
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													1							
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
SARS-CoV-2													1	11						
その他のウイルス														1						
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型																				
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型																				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1																	
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				1
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

ようやく見えてきたマイコプラズマ・ジェニタリウム尿道炎

性病のひとつである尿道炎は、淋菌性尿道炎と非淋菌性尿道炎に分けられる。非淋菌性尿道炎は6割程度を占め半数はクラミジア尿道炎である。さらに非淋菌性尿道炎の中でクラミジアが検出されないものが非クラミジア性非淋菌性尿道炎と呼ばれる。

これらクラミジアでも淋菌でもない尿道炎は、マイコプラズマ・ジェニタリウムやウレアプラズマあるいは膣トリコモナスなどが多く、マイコプラズマ・ジェニタリウムは約15%と報告される。

尿道炎は男女間のみならず、多様化する性行為やインバウンドによる性風俗産業の需要の増加など患者側の要因も多いが、診療側に起因するものも重要である。

抗生剤の使用により世界的に見てマクロライド系抗生剤の耐性化が進んでいて、中でも日本は耐性化率が極めて高い。自らの反省も込めて不適切で雑な抗生剤投与のつけが回ってきている。

自費診療で詳しい性病の検査も可能だが、時には数万円もの費用が必要となり患者の負担は大きい。一方長い間、一般の医家ではPCR法を用いた淋菌とクラミジア検査のみ保険適応であり、非クラミジア性非淋菌性尿道炎の検出が困難であった。そのため患者も治療を受け症状が緩和すれば、治ったとは言えない状態で性行為を行い新たな患者を増やす。

幸いにも2022年6月からマイコプラズマ・ジェニタリウムと膣トリコモナスを同時測定するPCR法が保険適応となり、ようやくマイコプラズマ・ジェニタリウムが見えてきた感がある。

ただし課題もある。淋菌、クラミジア、マイコプラズマ・ジェニタリウム、膣トリコモナスを全てPCR法で検査を行うと保険請求出来ないことが多い。仕方なく淋菌のみ尿培養で検査を行うが正確性や迅速性に欠ける。

今後患者がより利益を得られる治療を受けられることを期待したい。

(文責：みたか南口泌尿器科クリニック (泌尿器科医会) 長尾慶治)